

(1) 「えーいくるか。原子棒をうけてみよ。ウハハハハ」怪人ガンマがひとあばれすれば、フクメンたちはバタリバタリとたおされます。ガンマはこれでよいと、ミドリに

(2) 「ロボット太郎はドコにいるのでしょうか。アナタ知りませんか」「ええ、知っています。ロボットはデンキジャクにすいつけられてうごけないのです。デンキを切つてティデンにすれば、うごいてここへきます」

(3) 「それでは」と、ガンマはデンキ室へいってスイッチを切ります。パチン。スーッとデンキがこのそうくつ一帯にわたつてきれてくらくくなりました。

(4) 「ロンロン、しめたー」ロボット太郎は自由になって、ジシャクからはなれてとび出しました。こちらは

(5) ブラックバードです。「原子人間になって光にのつてにげようと思ったら、急に電気が消えてしまった。こまったなア。仕方がない、ヒコーキでにげることしよう」と、そうくつをすてて

(6) ヒューン、ブルルーン。と、ヒコーキでとび立ちましたが、しばらくいつてヒョイというしろの座席を見ると「あーッ」

(7) 「ロンロン、今日は。ボク、うごけるようになったから君のアトをずーとついて来たのだよ」と、いつのまにかロボット太郎が来ています。「こいつめ…よしヒコーキからほうり出してやる」

(8) 「ロンロンロン。ほうり出されてたまるものか。さア来い」「ウーン」ふたりがあらそううちに、そうじゅうする者がいなくなったヒコーキは、まっさかさまに

(9) ヒューン、ドブーン。と、海の中へおちてしまいました。ロボット太郎はヒコーキからぬけ出して、

(10) 「これでブラックバードはもう助かるまい。原子人間でも人間は死ぬ。僕はロボットだから死なないよ。サヨナラー」と、ガンマや小人ハカセのいるところへともどつていきます。

## 原子人間②①

(11) 「只今、ブラックバードはやつつけましたよ」「おう、ごくろうごくろう。よくやってくれた。これでもう悪い人はいなくなった」「それではどうじゃ、みんなわしの空とぶキューで日本へかえらないか」「は、ありがとうございます」

(12) 一同は小人ハカセの空とぶキューにのりました。ヒュークルルルルン。キューは大空をとんで日本へかえります。

(原子人間全巻のおわり)